

「観光レジリエンスサミット」開催記念 第2回

観光危機管理ワークショップ

～観光・宿泊事業の災害への備えを学ぶ～

日時 2024年 8月22日(木)
13:30 ~ 16:00

場所 TKPガーデンシティ
PREMIUM仙台西口
カンファレンスルーム7D

対象 仙台市内の
観光関連事業者、
観光関連団体 など

本年11月に仙台市において、観光分野の強靱性・回復力をテーマとした国際会議「観光レジリエンスサミット」が開催されることを記念し、観光業に携わる民間事業者様に向けた観光危機管理やBCPについて学ぶワークショップを開催いたします。

このワークショップでは、BCP作成の講座のほか、災害時に役立つアプリ等の情報や災害時の経験を紹介し、民間事業者様のこれからの災害への備えに役立てることを予定しております。

また、本市で策定中の観光危機発生時の観光客等への対応をまとめた「観光危機管理マニュアル」について、民間の視点からご意見を頂戴したいと考えております。

是非、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



プログラム (予定)

1. 主催者挨拶 (仙台市文化観光局観光レジリエンスサミット推進室)
2. 観光産業における災害時の情報集約プラットフォームについて (一般社団法人 日本旅行業協会 国内旅行推進部長 野浪健一氏)
宿泊事業者と旅行会社間の効率的な情報共有を図るシステムを紹介します。平時は施設情報、災害時は被災状況や営業状況等をシステムに登録することで、旅行会社への情報共有が一元化され観光事業者の負担軽減につながります。
3. 訪日外国人向け災害情報提供アプリ「Safety tips」の取組みについて (アールシーソリューション株式会社事業推進室 Safety tips担当 大本 凜氏)
施設管理者や外国人旅行者が多言語で災害情報を収集することが容易にできる観光庁監修のアプリの内容や、アプリの利用状況について紹介します。
4. 仙台市観光危機管理マニュアルについての意見交換
5. 民間事業者の観光危機対策事例のご紹介
6. BCPの添削講座

お申込み方法

以下のURL、二次元コードよりお申込みください。

<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1721971743465>



申込〆切

8月19日(月)

コーディネーター紹介

観光レジリエンス研究所

代表 高松 正人 氏



1982年、株式会社日本交通公社(現JTB)入社。株式会社ツーリズム・マーケティング研究所代表取締役社長、JTB総合研究所常務取締役を経て、2020年より現職。日本における観光危機管理の第一人者として国内外の観光危機管理や観光復興関係業務に数多く関わる。国連防災機関(UNDRR)の民間ネットワークARISEの日本代表。観光庁持続可能な観光推進事業アドバイザー、APTECサステイナブルツーリズム委員等、持続可能な観光の推進にも携わる。

次回のご案内

	時期	テーマ
第3回(最終)	9月下旬	能登半島地震の経験と課題や民間の先進事例から私たちができる備えを学ぶ

このほか、第2回に引き続き、BCPの添削講座や、仙台市観光危機管理マニュアルについての意見交換会を行います。コーディネーターの高松氏のほか、災害の経験を踏まえ、その備えについて先進的に取り組んでいる事業者等と交え、これからの災害対応に向けて、情報共有の場を設けます。

※8月初め時点の予定であり、変更の可能性があります。